

日創研 経営研究会

2024 全国大会

5.23_{thu.}-24_{Fri.}

in 姫路

h i m e j i

今こそイノベーション!

同志よ、 雄叫びを 上げる。

～播磨の偉人と実務者から
革新に目覚め、行動を誓う日～

会場：アクリエ姫路

(姫路駅直結徒歩 10 分)

世界遺産・国宝
姫路城



●タイムスケジュール [2日間すべて同一会場となります]

※スケジュールは変更する場合があります

5/23 (木)	
13:00～13:35	開会セレモニー
13:40～15:00	基調講演 I
15:20～16:40	基調講演 II
17:00～17:40	朝礼事例
18:10～19:30	懇談会

5/24 (金)	
8:00～	開場
8:30～10:00	分科会・経営相談会
10:20～11:20	13の徳目朝礼全国大会
12:20～13:40	基調講演 III
13:55～14:55	まとめ講義 (基調講演 IV)
14:55～15:35	閉会セレモニー

基調講演の講師は HP、公式 LINE にてご確認くださいませ



2024年度
日創研経営研究会全国大会 in 姫路
実行委員長
赤鹿 保生

1. 播磨の偉人から学ぶ
播磨地域が生んだ軍師、黒田官兵衛(孝高)は、戦国時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康という3人の天下人に仕え、軍略や外交面でたくいまれな才能を発揮した大名でした。情報収集にも優れ、情勢を見極め戦わず交渉で敵と和平する希有な才能に長け、とりわけ軍師として秀吉の天下統一にも大きく貢献しました。小田原城の無血開城をはじめ、その時々で知恵と創意で戦わずに勝つ、言い換えれば合理的で王道の戦術とも言えます。戦(いくさ)と企業経営は違いますが、現代の経営に置き換えれば、どれも革新的な発想と行動力で、危機をチャンスに変えた経営革新にも応用できると確信します。地元播磨の偉人から、今の経営革新のヒントを学んで頂きたいと思います。

2. “同志よ、雄叫びを上げろ。”
一見、荒っぽい言い回しに聞こえるかもしれませんが。経営研究会の田舞本部長は、2018年から経営革新の必要性を本部長方針で必死に訴えられています。時代潮流の劇的な変化により、その鬼気迫る訴えは現実となり、我々企業に大きな変化を求めています。しかし、中小零細企業にとってイノベーションを起こす事は、決して容易ではない事も事実です。これまで中々革新の1歩を踏み出せなかった会員諸氏の行動の起爆剤にしたいと思ひます。田舞本部長の切なる訴えを、「同志よ、雄叫びを上げる。(会員よ、立ち上がれ。)」と受け止め、播磨の偉人と実務者から革新に目覚め、行動を誓う日を、この姫路の地で創り上げたいと思ひます。

実行委員会メンバー一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



日創研姫路経営研究会
会長
松本 彩稔

姫路経営研究会は、北は日本海に面し積雪が多い但馬地域から南は瀬戸内海を臨み世界遺産姫路城を擁する播磨地域において、経営者・幹部・社員が三位一体で学ぶオンラインワンの経済団体を目指し2012年に設立されました。

兵庫県は、神代よりイザナギ・イザナミの国生み神話があり、気候風土、歴史文化の異なる摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の旧五国が一つになった県で、今に息づく五国の個性の融合が兵庫県の強みであります。姫路市は、かつて播磨国と呼ばれた兵庫県南西部に位置し、東西南北いずれの方向からも道が通じ、ヒト、モノ、カネが盛んに行き交う「情報の十字路」が形成され、日本全国の文化交流・経済発展を強く促す「国家基盤を支える大動脈」として位置づけられています。

激動するこのニューノーマルの時代に、古くから経済の要衝の地である姫路にて全国大会開催に携わらせていただくことは、大変身の引き締まる思いでございます。【今こそイノベーション! 「同志よ、雄叫びを上げる。」～播磨の偉人と実務者から革新に目覚め、行動を誓う日～】を大会テーマとして、全国の共に学ぶ仲間がイノベーションに一歩踏み出せるよう、そして共に学んで良かったと感じて実践に移せるよう姫路経営研究会一同万全を尽くし、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大会登録費：30,000 円 注)登録費に宿泊費は含まれていません。宿泊手配は各地単会にてお願い致します。

主催：日創研経営研究会 主管：日創研姫路経営研究会

副主管：神戸経営研究会、阪神経営研究会

お問合せ：大会事務局長【河崎】 info2024@himejikeiei.grp-ware.jp



◀全国大会 HP



◀公式 LINE

～播磨の偉人と実務者から革新に目覚め、行動を誓う日～

黒田官兵衛

December 22, 1546 – March 20, 1604



福岡市博物館所蔵

『我、人に媚びず 富貴を望まず』

黒田官兵衛は、天文15年（1546年）に生まれ、播磨の地で育ちました。

官兵衛は、若いころから熱心に和歌や文学を学ぶなど高い教養を身につけ、22歳の時には、小寺氏に仕官していた父・職隆から家老職を継いで姫路城代（城主に代わって城を管理する者）となり、その後、織田信長や豊臣秀吉に仕えることとなります。

特に、官兵衛は秀吉の参謀として大きな役割を果たしました。天正10年（1582年）、秀吉が毛利氏と対峙し、備中高松城（岡山市）を攻め込んでいたさなか、「本能寺の変」が起こり、秀吉は主君・信長の死を知り泣き崩れます。しかし、この時官兵衛は、速やかに京都へ向かい明智光秀を討ちとるべきだと秀吉に進言し、世に言う「中国大返し」が成功。秀吉は光秀を滅ぼし、天下統一に大きく近づくこととなります。

官兵衛は、稀代の軍師と呼ぶにふさわしい活躍を見せる一方で、名誉や利益を好まず、儉約を旨とした人物でもあり、その生きざまは多くの人々の心をとらえています。

姫路市 HIMEJI CITY

中核市及び国際会議観光都市に指定されている。周辺自治体を含め、773,389人（2015年）の姫路都市圏を形成する。

兵庫県下2位の商工業生産額と人口を擁する都市であり、播磨地方の中心都市である。国宝姫路城、書写山門教寺、三大荒神興の一つとされる灘のけんか祭りなどの、播州の秋祭りが有名。

国宝姫路城は平成5年12月、奈良の法隆寺とともに、日本で初の世界文化遺産となる。

シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれる姫路城。400年以上が経過した現在でも、その美しい姿を残しています。



WELCOME to HIMEJI!



会場までのアクセス

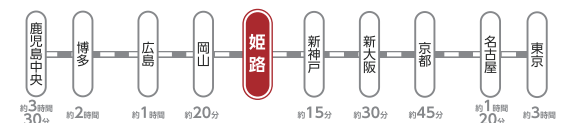


飛行機でお越しの場合

- 関西国際空港から約130分
(直通リムジンバス)
- 大阪(伊丹)空港から約90分
(直通リムジンバス)
- 神戸空港から約70分
(空港からポートライナー+JR)



新幹線をご利用 新幹線「のぞみ」停車駅。



JR在来線をご利用

